2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名（英）	情報技術と職業__入門（Information Technology at Work Place – intro）		
ナンバリングコード	P11601	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル キャリア開発
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	P160151	クラス名	－
担当教員名	星芝　貴行、赤星　哲也、濵田　大助、高　文局、坪倉　篤志、吉森　聖貴、小島　康史		
履修上の注意、履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。（学科推奨科目）。履修制限：当該学年次のみ履修可、再履修：不可 授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。 他は備考欄を参照ください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	各学生に合わせて、基礎学力、ペン字検定、漢字検定、英検、数学検定の書籍を活用します。		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報技術と職業入門（演習、実践）		

○授業の目的・概要等

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの１年目のステップです。 主テーマ　将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。 大学卒業後の進路を目標と設定し、その進路を実現するために、在学中における様々な取り組みを行います。	
授業の概要	授業の中で、様々な講演等から、将来の方向性について考えます。また、「グループディスカッション」や「実物体験」等に取り組み、計画性、主体性、自主性に加え、専門業界が、どのように実際の社会の中で活用され、どのように構築・制作されているのか、学習します。さらに「VRT」と「一般常識模試」に取り組み、自身の適性や基礎学力能力を捉え、結果から、今後の学習計画を立てます。 実物体験：学内外で実施されるイベント・発表会・展覧会・説明会・シンポジウム・企業訪問等での学習。各自で自主的に取り組みます。 主テーマ　将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	PBL(プロジェクト型授業) 他
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標 / ○成績評価基準（合計100点）

到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確認等）	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	将来に向けた道を見つつ、基礎能力を付ける。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。	5点	12点	8点
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、知識の習得	5点	12点	8点
【技能・表現・コミュニケーション】	実物体験や、各種諸先輩方の発表を聞き、それらに対する質問から、自身で考え、展開し、質問する能力を身につけます。	5点	12点	8点
【思考・判断・創造】	将来の方向性について絞れるだけの知識を身につけます。	5点	12点	8点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

レポートの提出、レポートの記載内容
課題やワークへの取り組み

フィードバック方法
・課題：LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説
・試験：すべての試験結果は翌週以降に返却する

○その他

PCルームでの出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をしなさい。登録無き場合、欠席と記録します。
他教室での出席管理は、所定の手法で行います。
教員が指定するWebシステムやサーバを用いた演習を行います。

第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。
受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。
出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。
授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。

スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。
課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。
実物体験への取り組みは、各自で計画立てて取り組み、結果（報告書）を締め切りまでに提出しなさい。なお、報告書を受け付けは、所定の時間帯と場所以外では対応いたしません。（所定以外の提出物は受理せず破棄します）

授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。
授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。（授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。）
課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。
他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。
著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。
後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。

本授業への取り組みや成果は、学内の関連機関や、家庭と情報共有いたします。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

〇授業計画
科 目 名 ： 情報技術と職業＿入門（Information Technology at Work Plac　授業コード：P160151
担当教員： 星芝　貴行、赤星　哲也、濵田　大助、高　文局、坪倉　篤志、吉森　聖貴、小島　康史

学修内容

1. ガイダンス
本授業での取り組みについて説明を行います。
予習： 本学で成し遂げたいコト、将来の進路について考えてきてください。（約2.0h）
復習： 配布資料や課題への取り組み。今後の計画について考えてくること。（約2.0h）

2. VRTテストと目標
職業に対する興味の度合いをVRTテストを通して把握します。また、将来の方向性の目標について、本日より取り組み始めます。
予習： 今後の具体的な進路について考えてきてください。（約2.0h）
復習： 目標について少しずつ具体化していきましょう、（約2.0h）

3. 先輩たちの取り組み（夢）
業界で活躍している卒業生が、在学時に取り組んでいたことを紹介します。この中で、自分の目標に近い先輩の取り組みから、自分の取り組む道や具体的な取り組みを学習します。
予習： 今後の具体的な進路について、再度考えてきておいてください（約2.0h）
復習： 具体的な先輩の事例から、各自での方向性を具体化し、取り組み始めます。（約2.0h）

4. スケジュール管理　タスク管理
大学生活は高校と異なり各自で時間割を組み、スケジュール管理、タスク管理する必要があります。これは、日々の取り組みもあれば、将来の方向性を確定して活動（就職・進学・留学・企業等）する上でも重要な取り組みです。今回は、スケジュール管理・タスク管理について学びます。
予習： 今後の具体的な進路について考えてきておいてください。（約2.0h）
復習： 予定をスケジュール帳などに記入し、実行してみてください。（約2.0h）

5. レポートの書き方講座①
大学でのレポートの書き方について2回で学習します。今回は1回目
予習： 作文、日記、大学でのレポートの違いについて考えておいてください。（約2.0h）
復習： レポートの書き方についてまとめておきなさい。また課題へ取り組みなさい。（約2.0h）

6. 解説・ワーク・一般常識模試
自分の学力をしっかり捉えるため、事前解説・ワークと、一般常識模試に取り組みます。
予習： 基礎学力（高校2年まで）で弱い部分について取り組んでおいてください。模試の受験料を支払っておきなさ（約2.0h）
復習： 取り組んだ結果から、自己採点し、間違えた部分を各自で問題を解いておいてください。（約2.0h）

7. 就活体験談
本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。また諸先輩方からお話を聞いたり、質問することから、コミュニケーション能力の習得にも取り組みます。
予習： 描いている将来像に到達するために必要な取り組みについて整理しておいてください。（約2.0h）
復習： 諸先輩方からのお話や質問から、各自が取り組むことの再調整と具体的な取り組みを行ってください。（約2.0h）

8. レポートの書き方講座②
大学でのレポートの書き方について2回で学習します。今回は2回目
予習： 前回のレポートの書き方講座で学習したことを再確認しておくこと。（約2.0h）
復習： レポートの書き方についてまとめておきなさい。また課題へ取り組みなさい。（約2.0h）

〇授業計画
科 目 名 ： 情報技術と職業＿入門（Information Technology at Work Plac　授業コード：P160151
担当教員： 星芝　貴行、赤星　哲也、濵田　大助、高　文局、坪倉　篤志、吉森　聖貴、小島　康史

学修内容

9. 実物体験①（卒研発表会等）
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます
予習： 学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画（約2.0h）
復習： 取り組みからレポートへの取り組みと報告（約2.0h）

10. 実物体験②（学内外イベント等）
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます
予習： 学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画（約2.0h）
復習： 取り組みからレポートへの取り組みと報告（約2.0h）

11. VRT・一般常識ワーク
以前、行った、VRTテストと一般常識模試の結果が返ってきているので、返却し、結果から自分の能力の把握と今後の取り組み計画のワークに取り組みます。
予習： 今期の取り組みについて振り返り、進捗状況を整理しておいてください。（約2.0h）
復習： 各種結果から、目標やスケジュールの見直しを行い、実際の取り組みを開始してください。（約2.0h）

12. ITパスポート解説講座
ITパスポート資格取得に向け、資格の解説から資格取得に向けた勉強方法について学習します。
予習： ITパスポート取得に向け資格取得に必要な知識やスケジュールについて調査しておきなさい。（約2.0h）
復習： 資格取得に向け、具体的な勉強に取り組んでください。（約2.0h）

13. 基本情報対策講座
基本情報技術者試験の資格取得に向け、資格の解説から資格取得に向けた勉強方法について学習します。
予習： 基本情報技術者試験の取得に向け、必要な知識やスケジュールについて調査しておきなさい。（約2.0h）
復習： 資格取得に向け、具体的な勉強に取り組んでください。（約2.0h）

14. GATB(一般職業適性検査）
各個人の職業適性の検査に取り組みます。取り組み結果から、能力特性として各個人に適合した職業について考えます。
予習： 将来の進路について考えてきてください。（約2.0h）
復習： 検査への取り組みから、もう一度、進路の方向性について見つめ直してみましょう。（約2.0h）

15. ガイダンス、学習計画
1年の締めくくりとして、ガイダンスに取り組みます。また第14週に取り組んだ期末小テストの結果を返却します。試験結果から、自身の能力を捉え、改善するべき所を明らかにし、学習計画を立てます。
予習： 今期の取り組みについて、振り返っておいてください。（約2.0h）
復習： 授業で作成した今後の学習計画に取り組み始めます。（約2.0h）

16.
予習：
復習：